

全教一齊にをいがけデー 9月は強調の月

9月28日29日30日～ようぼくの実動日

※3日間の内1日を教会長が先頭に立って実動する「教会長路傍講演の日」に、
全3日間を「ようぼくの実動日」として布教活動を展開しよう！
各地域の実施日時や場所については、教区・支部または最寄りの
教会にお尋ねください。



第562号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
印刷
三浦印刷株式会社

いつも「晴天の心」で

もともと人の心は
明るく清らかなものです
しかし、いつの間にか 曇り汚れて
きます
目に見えない「ほこり」が
知らぬうちに 心を覆ってしまうか
らです

たとえば 雨模様の日
雲や霧で薄暗くなりますが
空の上では
太陽がまばゆく輝き 光があふれて
います

雲や霧がなくなれば
透き通った空がどこまでも広がるよ
うに
「心のほこり」を取り去れば
いつも「晴天の心」で過ごすことが
できます

ほこりとは
自分さえよければ 今さえよければ
という勝手気ままな心づかいです
人のことを思い 人のために生きる
とき
心のほこりは払われ
明るさと喜びがあふれてきます

(二齊にをいがけデーリーフレットより)



今年も、北海道合同隊こともおちばがえり
団参、わきあいあいと100名が参加↓
真夏のおちばで、元気ハツラツ
道産子少年心のきしん隊員 ←



北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。

「教祖のかおり、かぜ、ぬくみをいただいで」 少年ひのきしん隊 報告

本年は、26日27日と雨のスタートとなりましたが、28日からは連日の猛暑日で、テレビでは熱中症の予防情報ばかり流れていました。予防用具はそろえました。が、何より親神様や教祖のお働きが無くてはと思い、スタッフには、「教祖に喜んでいただけるよう心から信じきって通らせて頂きましょう」と話し、カウンセラーには「子供たち

連日の猛暑でしたが北海道教区の子供は誰一人、救護所にお

ファイナーレで代表隊員としてお礼のことばを



今里佑奈さん(中3) 札幌中南支(奈良) 札幌分教会

私は三年間少年ひのきしん隊に参加させていただきました。そして今年、団長先生から代表隊員というとても有難い役目を与えていただき、さらにファイナーレのお礼の言葉も言わせていただくことになりました。私

がファイナーレにあたったとカウンセラーさんから聞かされたとき、有難いな、嬉しいなと思う



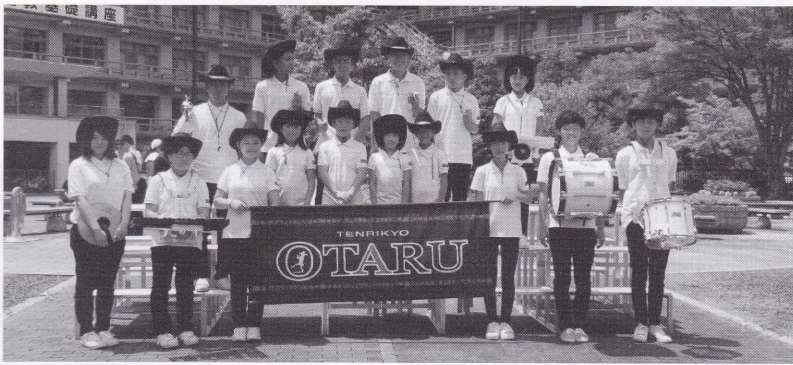
世話になることなく勤めることが出来ました。本部練成会の寮長が「今年は誰一人救護所に行きませんね」と聞かれ、「カウンセラーがきつと教祖のかおり、かぜ、ぬくみを伝えてくれるんでしょね」と話しましたところとても感動していただ

きました。

このように通らせて頂けましたのもおちばで勤めるものをはじめ、教区長、諸先生、担当者、保護者の方の思いをお受けとり頂いたものと思わせていただきます。ありがとうございます。

帰りのフェリーも心のリセットができ、すべてが結構に歩めるようにお連れとおりにいただきました。今年も子供たちに感謝を頂きました。ありがとうございます。 (隊員25名、カウンセラー9名、スタッフ7名計41名) 団長・久米田忠彦

快挙! 金賞受賞 小樽支部鼓笛隊



小樽支部少年会は7月27日から8月2日にかけて、支部団体

にてこどもおちばがえりに参加(55名、内少年会員35名)した。7月30日には、平成20年に結成以来毎年出演している「御供え演奏」に参加。さらに今回も何とか編成できたため「鼓笛オンパレード」にも出演させて頂きました。

38名の支部団体の仲間が見守る中、12名の少年会員は日頃の練習成果を発揮して、「United States Armed Forces Medley」を少人数ながらも堂々と演奏行進を行いました。結果7回目にして初めての金賞を頂き、大きな感動を共にしました。

これまでの小樽支部あげての支えと、たずさわってこられた皆さんの思い、出演者の一手一つの取り組みに嬉しい受賞となりました。今後も仲良くたすけあい、楽しみながら活動していきたいと思えます。

(責任指導者 境 真亮)



こどもおぢばがえり
— 北海道合同隊 —
今年も元気に帰参

昨年から全道の各支部に呼びかけ、こどもおぢばがえりを大勢で賑やかに帰らせて頂くという思いから合同隊を進めてまい

りました。大勢で動く事で大変なこともあります。子供たちがその中で学んでくれることも多く、おぢばの素晴らしさを共に感じさせてもらっています。

大きな事故もなく、熱い中ではありましたが、皆元気に、こどもおぢばがえりに参加させていただくことができました。ありがとうございました。

【参加支部】

- ・北見支部
こども21名・大人10名
- ・上川支部
こども1名
- ・札幌連合
こども34名・大人13名
- ・宗谷支部
こども10名・大人5名
- ・釧根支部
こども4名・大人2名

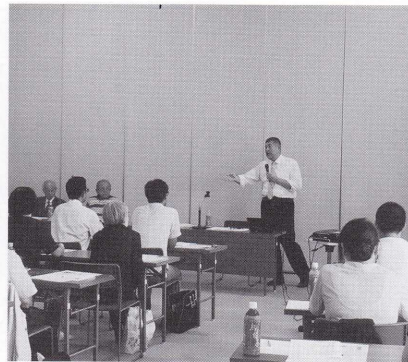
総勢 こども70名 大人30名
他にも倶知安支部、余市支部、天塩支部、天龍支部などが参加を予定でしたが、残念ながら子供の参加がありませんでした。

※道中、往路のフェリーやおぢば行事を男能富分教会と交流し、復路のフェリーでは室蘭・十勝支部隊との交流を深めました。

(武田記)

天理教学を学ぶ会
第3回公開講座開く

8月12日、北海道天理教学を学ぶ会では、岡田正彦・天理大学教授（富良野支部、富良野分教会所属）をお招きして、教務支庁大会議室に於いて、第3回公開講座を開催し、38名が受講しました。



西垣教区長の開講挨拶に続いて、岡田教授が「原典から何を学ぶか」と題し、3原典の概要を述べられるとともに、「先人が教祖の仰せのままに、「おふでさき」を常に携行され、絶えず読まれた逸事や、「おさしづ」を拝読する上での、着眼点について10分間講義をされ、休憩ののち40分間、活発な質疑応答が行われました。

また、天理大学に入学される前に、北海道教区の布教隊に2

度参加され、教務支庁を根城に、戸別訪問に歩かれた時の体験が、ご自身の進路に相当程度作用したことなどを披露されました。

終了後15人ほどが残り、応接間にて1時間、岡田先生を囲んで教学について懇談を行いました。

なお、講義録をお求めの方は、代表までご一報下さい。

(代表・荒川善孝、小樽支部、板山分教会)



旭川支部総会
「第48回ようぼくの祭典」
開催

開催

7月21日に旭川支部（藤崎実支部長）では、令和元年の支部



総会を上川分教会を会場に開催した。祭儀式の後、よろづよ八首を総立ちで勤めその後、教育成部の高橋太志先生の記念講話をいただいた。午後からは、会館に移動して、ブドウの会のエビ・カニ体操や鼓笛隊の演奏でオープンした親睦会では、お絵かきゲームや150品が揃った抽選会で楽しんだ。

参加者109名。

新会長さん紹介

(令和元年7月26日お運び)

天龍支部

雨龍大教会(本部)

奉告祭9月1日



西垣 喜一氏 (36歳)

網走支部

網新分教会(網走)

奉告祭10月14日



新川 正美氏 (48歳)

毎回好評のひのきしんスクール

「依存症のおたすけ」南空知支部会場報告



7月13日栗山分教会を会場に、おたすけのためのひのきしんスクールが開講され、61名の受講者が集まった。「事情だすけ」依存症のおたすけ」と題し、3人の講師から依存症の怖さと対処法についてお話し頂いた。

一講目の田中紀子先生は、自身がギャンブル依存から抜け出した体験談を話し、依存症が脳の病気である事、半端な知識で関わりと却って悪化してしまう事を話され、当事者や家族が最寄りの自助グループへと繋がるようにするのが一番である、と訴えた。

昼食を挟んで二講目の鈴木顕太郎先生は、依存症患者の身に起こる症状を具体的に説明し、回復には周りの人の理解が重要である、と話された。また依存症患者へのおたすけの失敗話もされ、適切な知識を持つ必要がある事を述べられた。

三講目の中雄丈斗先生は、座学から一転して受講者全員を立たせて、会場中を歩いて出会った人と話す、という行動療法の実践を行った。話す事・動く事が脳を活性化して、様々な精神疾患に効果があるのと同時に、おたすけ人である我々自身が元気で笑顔でいなければならない、と声を大にして訴えた。受講者達は初め戸惑っていたが、次第に笑い声と笑顔に包まれた会場に、行動療法の効果を身をもって体験した。

まなびばイン釧路

7月20日、21日にわたり「まなびば」を釧路市音別町二俣にある「体験学習宿泊施設こころみ」で開催した。

この施設は、廃校になった二俣小中学校を改装し、自然の中で、チーズやソーセージの加工体験や皮革加工体験などが出来るようになってきている。また、夜の天体望遠鏡による星空探検も人気である。

今回は学生6名スタッフ6名でプログラムと合わせて体験学習を行った。学生はソーセージ作り、スタッフはピザ作りに分かれ体験学習を行った。

最後に質疑応答があり、おたすけの現場での不安や疑問が多数上がったが、講師の明快な答えにそれぞれの質問者も納得の様子だった。

合計6時間以上のプログラムであったが、講師の先生方の熱の籠った話に圧倒されてか、受講者からは「あつという間だった」との声が上がっていた。力強い話と自ら体験する演習によって、体に染みついて残るような講習会となった。

(支部担当者・豊島)

あいにくの小雨の中始まった学校まなびば」だったが、体験学習の功もあつたのか、すぐに打ち解けた参加者は和気あいあいとした雰囲気の中、プログラムを通して気づきを得るとともに学生会活動に対しての意識を高めることができた。

(教区学担委員・坂下)



けいじばん

◎金銭に関わる諸問題で相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催しています。(三布連)

◎毎月26日10時より本部分次祭 遙拝式をおこなっております。

訃報

- ・高田 敬介様 8月17日出直 (80歳) 藻岩分教会 前会長 (札幌北西支部)
- ・菊地 一夫様 8月22日出直 (87歳) 吉野分教会 前会長 (苫小牧支部)

北海道教務支庁日誌抄

- 7月26日 本部分次祭遙拝式 (7月19日～8月18日)
- 30日 少年会ひのきしん隊 (8月6日)
- 8月6日 たすけ推進会議
- 7日 支部長会議
- 11日 札幌四支部鼓笛練習 お泊り会
- 12日 天理教学を学ぶ会
- 17日 学生会行事
- 18日 網走大教会の集い 教区報編集会議